

2022年5月28日

全国パーキンソン病友の会県支部 又吉朝子

心の扉を開いたら

患者会・福祉団体便り

「パーキンソン病患者への難病対策を求める請願」の署名活動を2021年秋から全国支部で取り組み、第208回通常国会へ提出しました。会期末の6月15日、衆参両院で採択されました。3年連続です。署名活動にご協力くださった皆さま方に感謝申し上げます。友の会の請願4項目の中からひとつ取り上げたいと思います。

指定難病の見直しを検討する場合には「患者数だけでなく、患者の治療状況や指定難病に指定された経緯等も考慮しつつ慎重に検討すること」を挙げています。

パーキンソン病は、高齢化社会に伴いその人口に占める比率が年々増加しています。要するに患者数が増えたからと切り捨てないでほしいです。

06年、厚生労働省の諮問機関である「第1回特定疾患対策懇談会」の結論は「希少性」を理由にパーキンソン病（中症）と潰瘍性大腸炎（軽症）を公費負担から外す提案をしてきました。

私たちの闘いは、同年8月

難病対策、切り捨てないで

のマスクミ発表から怒りが爆発し、直ちに友の会本部は全国の支部に厚生労働省へ「抗議行動」を発し、全国にそれは広がりました。先人たちがやっとの思いで勝ち取った「公費負担」を無くす訳にはいかない、外されないために全国一斉に抗議行動をしました。

沖縄県支部も、マスクミ各社にお知らせして取材してもらい、テレビ放送や新聞掲載をしていただきました。40人余りの会員家族が参加してバレットくもじ前で署名活動を行いました。このような経緯があったことを知らない方々が多いと思いますので油断してはならないと思います。

友の会の活動方針として、知識の研さんと患者、家族の交流があります。コロナ禍の中で活動がままならない現状ですが、10月には交流会を予定しております。

その中でコンソートアレリア（スペイン語で楽しい楽団）演奏会も企画しています。音楽は人を和ませます。皆で楽しいひと時を過ごせませよように願っております。

23年1月には講演会も予定しています。早くコロナが終息して皆で和気あいあいと集まれる日が来ることを願って待ちましよう。

健康

店舗紹介

実績県内最大級

これまでに50万件を超える検査件数

血液と血流が気になる方へ
素肌と髪をきれいで健康に

お知らせ



ミュージック

店舗紹介

店舗紹介